

第 24 回社会福祉士国家試験【専門科目①】

やまだ塾の解答速報(1月29日実施分)

2012年2月2日 7:30 掲載

- 変更はその都度行う。(変更分は青字で表示する)

科目	問題	やまだ塾の解答	(参考) 簡易解説
①社会調査の基礎(7問)	77	④	個人情報保護に関して、厚生労働省ガイドラインでは、「症例や事例により十分な匿名化が困難な場合は、本人の同意を得なければならない」とされる。本人の同意がなければ、個人情報保護法、プライバシー保護の両面で問題が生じる。
	78	③	・横断研究＝ある一時点(時期)での断面調査で、関連は推定できるが、因果関係を証明できない。 ・パネル調査＝同一の研究対象者に同一の調査を2回以上行うことにより、変数間の因果関係を推定する研究手法である。
	79	①	一般的には、5段階のリッカート尺度を使うことが多い。
	80	⑤	・第3の変量によって、変量同士の相関があるように見えるのを擬似相関という。擬似相関を考慮した相関係数が、偏相関係数である。
	81	③	アクティブ・インタビュー＝「質問」とそれに対応する「回答」というかたちではなく、基本的に両者の「語り」によってインタビューが進行する。

<http://www.yamadajuku.com/>

やまだ塾

Copyright(C) 2012 Shunsaku Yamada. All rights reserved.

	82	②	<ul style="list-style-type: none"> ・質的調査＝対象の質的な側面に注目した調査 ・文書資料の種類＝一次資料と二次資料, 公的文書と私的文書など
	83	④	<p>・「インターネット調査は社会調査に利用できるか」(2005年, 労働政策研究・研修機構)＝「インターネット調査のような新しい調査法が急速に普及し, どの調査法をどのように用いれば質の高い情報が得られるのかについて様々な見解が錯綜しており, 調査の信頼性に関して楽観は許されない状況にある。」と記述されている。</p>
⑫相談援助の基盤と専門職(7問)	84	④	<p>士士法第47条＝「福祉サービス関係者等との連携を保たなければならない。」と明記されている。</p>
	85	⑤	<p>利用者本位とは, 利用者の立場とそれまでに至った経緯に共感し, 自己決定を尊重することが原則であるが, 利用者の違法な行為や逸脱した態度を許容したり同情することではない。</p>
	86	②	<p>アドボカシー機能＝自らの権利, 要求, 主張を表現できずニーズを充足できない人々の権利を擁護し, 支援や代弁をしていく機能である。</p>
	87	④	<p>「社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正する法律について」(平成19年12月5日厚生労働省社会・援護局長通知)</p>
	88	①	<p>利用者や所属組織, 地域や社会に対しても, 専門家としていかなる効果を持って支援をしているかという, 説明責任(アカウンタビリティ)を果たさなくてはならない。</p>

	89	⑤	社会資源の活用は、本人の意思によるものでなければならないため、分かりやすい言葉で説明し、自己選択・決定できるよう、継続的に支援することが重要である。
	90	③	理解を促すための集会・シンポジウム等の場を設定することなど、地域に向けての啓発活動が重要である。
⑬相談援助の理論と方法(21問)	91	④	ラップによれば、地域が当事者にとって潜在的な資源のオアシスであり、ごく一般的な資源は、当事者が自分の生活やウェルネスを構築する上で、より良い動機付けにつながり、地域の一員であるという感覚を促進することを可能にする、としている。
	92	④	パールマンの問題解決アプローチは、個別援助を、援助者と利用者とはそれぞれの役割を演じる問題解決過程としてとらえる。社会的役割葛藤の問題を重視し、問題解決に取り組む利用者の力を「ワーカビリティ」と呼び、重視した。
	93	⑤	インテークにおいて、自分の所属する機関の機能について説明し、そのサービスの活用についての利用者の意向を確認する。その後の面接においては、家族の抱える問題に目を向けるだけでなく、家族の持っている力にも焦点を当て、支援の対象としてアプローチする。
	94	①	ソシオグラムは、成員間の関係を図示しており、この結果を基に、個人の集団内での位置づけを示す社会測定的地位指標や集団凝集性を示す指標が求められる。児童・生徒間の心理的關係を理解する有効な方法であるとされる。

	95	⑤	プランニングは、援助についての具体的な目標と方向性を定めることである。この時点の援助者と利用者との関係は、利用者自身が問題を認識し、自身の力で解決に向けた意欲を持つために、利用者の参加は不可欠である。また、援助者と利用者の協働作業が基本である。
	96	④	・援助関係とは、利用者と援助者との間の信頼に基づく専門的な関係である。利用者の気持ちを理解することに努め、傾聴と共感で拒否する気持ちを受け止め、説明を十分行い、納得を得る。 ・しかし、事前に問題になると分かっていた「家族との関係」を持ち出したKさんでは、改めて面接してもうまく行かないという心配がある。
	97	③	モニタリング＝プランニングで設定した課題の達成状況について、経過的な見直しを行うことである。必要に応じて、新たなアセスメントにつなげることもある。
	98	⑤	集団比較実験計画法＝対象を、介入援助を実施する「実験群」と、援助を実施しない「統制群」に分けて、従属変数の測定を通じて、2つの群を比較する。
	99	③	統制された情緒関与の原則＝利用者の感情や考えに対して、援助者が意図的に適切な対応を行うために、援助者自身の感情を自覚して吟味する原則である。
	100	⑤	子どもの虐待が行われているおそれがある場合は、児童相談所の職員などが子どもの住居に立ち入って必要な調査をしたり、保護者に質問することができる。しかし、実施には、その保護者と児童相談所の職員との間に信頼関係が形成されていなければ、その後の援助活動に支障が出てくるため、児童相

			談所ではできる限り家庭訪問というかたちをとると言われている。
	101	⑤	家庭内の状況, 介護の状況, 健康管理の様子などの周辺情報を含めて, 総合的に情報を整理し, 判断する必要がある。被虐待高齢者の意思確認が最も重要であるが, 虐待者をかばったり, 自分の責任とすることが多いので, 顔つきや表情などからも, 本人の気持ちの確認に努めなければならない。
	102	②	積極的傾聴＝単に「話を聞く」のではなく, 利用者が自分の抱える葛藤や不安などの感情を適切に表現できるような聴き方を意味する。 ・反射とは, 利用者自身を映し出す鏡で, 評価を差し挟まず, 受け入れることである。また, 明確化は, 利用者到自己表現を促すことである。
	103	①	ケアマネジメントにおけるリファール＝照会, 適切な機関の紹介, 他機関への送致等
	104	④	利用者の主体性を尊重することを共通認識とし, 各職種の専門性への相互理解と連携に基づき総合的に支援を展開していく。
	105	①	サービス拒否は, それにいたるまでの経過と理由があることが多い。その結果としての拒否が考えられるため, 利用者の気持ちを理解することに努め, 傾聴と共感で拒否する気持ちを受け止め, 説明を十分行い納得を得る。自己決定の理念として, 本人の了解が必要であり, 本人の了解なしに援助を始めても後に支障の出る可能性が高い。

	106	①	当事者の主体性を尊重した問題解決へのプロセスを重視することが基本であるが、相互に結びつけるために、仲介することが求められる。
	107	④	ソーシャル・サポートシステムの種類＝ ①「自然発生的に存在するサポートシステム」(家族, 隣人など), ②「意図的につくられるサポートシステム」(セルフヘルプグループなど), ③「制度化されているサポートシステム」(専門機関など)
	108	④	グループワークにおける参加の原則は、メンバーが各自の能力に応じて問題解決の過程に参加するよう促し、その能力を高めることができるように援助することである。
	109	⑤	ライブスーパービジョン＝実際の援助場面に同席して(ライブ), その場でスーパーバイズする。
	110	②	ガイドラインの「I 本指針の趣旨、基本的考え方等」-「5.福祉関係事業者が行う措置の透明性の確保と対外的明確化」に、プライバシーポリシーが記載されている。
	111	③	現象だけを評価するのではなく、その状況を起こしている原因を考える必要がある。表面に表れている行動や言葉にとらわれることなく、その裏側にある心理状態をとらえることが重要である。
⑭福祉サービスの組織と経営(7問)	112	②	特定非営利活動促進法第2条第2項(定義)および第12条第1項第4号(認証の基準等)
	113	④	組織におけるコンフリクト(葛藤)は、必ずしも否定すべきものではないと捉えられている。コンフリクトへの対処から、新しい技術が開発される可能性があり、そのほうが望ましいということである。

	114	①	<p><アンゾフの意思決定論></p> <p>①組織階層＝トップマネジメント, ミドルマネジメント, ローアーマネジメント</p> <p>②意思決定＝戦略的意思決定, 管理的 意思決定, 日常業務的意思決定</p>
	115	③	<p>監査人による監査の分類は, ①外部監査, ②内部監査, ③監査役監査である。</p>
	116	②	<p>「社会福祉法人・施設における人材マネジメント」(2009年)＝「組織に人事考課を導入する目的は, 法人・施設の理念や経営目標を浸透させることにあります。(中略)理念, 方針, 経営目標と評価基準の整合性が図られていることがポイントです。一般的な評価基準を導入してもその目的は達成されないということです。」と記述されている。</p>
	117	③	<p>・リチャード・ノーマン＝「真実の瞬間」</p> <p>・サービスの基本的特性として, ①無形性, ②生産と消費の同時性, ③顧客との共同生産性, ④結果と過程の等価的重要性, がある。</p>
	118	①	<p>「労働者の心の健康の保持増進のための指針」(平成12年)</p>